NEWS RELEASE

2026 年 9 月 28 日

お 客 さ ま へ

株 式 会 社　栃 木 銀 行
取締役頭取　仲田　裕之

ゼブラ電子株式会社に対する「とちぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス」に係る第一回モニタリング実施結果について

株式会社栃木銀行（取締役頭取　仲田　裕之）は、ゼブラ電子株式会社（代表取締役社長　小野　有理）に対して実行したとちぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「とちぎん PIF」）について、第一回モニタリングを実施しましたので、下記の通りお知らせいたします。

「とちぎん PIF」は、お客さまの事業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響（インパクト）を包括的に特定・評価し、その評価に基づき設定した KPI（重要業績評価指標）の達成を継続的に支援する融資手法です。

当行は、本件について第一回モニタリングを実施し、同社との対話および事業性評価を通じて設定した KPI の進捗状況および取組内容を確認するとともに、今後の課題や取組方針を共有しました。

今後も継続的なモニタリングと対話を通じて、お客さまの企業価値の向上およびサステナビリティ経営の推進を金融面から伴走支援するとともに、持続可能な地域・社会の実現に貢献してまいります。

NEWS RELEASE

【第一回モニタリング概要】

企業名　　：ゼブラ電子株式会社
代表者　　：小野　有理
所在地　　：栃木県大田原市若草 1 丁目 1475
事業内容　　：太陽光発電関連装置製造
融資実行日　　：2025 年 9 月 22 日
モニタリング実施日：2026 年 7 月 14 日（対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

項目	領域	目標・KPI	実績 （達成率）
KPI①-1	社会 経済 環境	＜太陽光発電用パワーコンディショナの生産台数の増加＞ ・2026 年 3 月期目標 30,712 台	33,404 台 （108.7%）
KPI①-2		＜蓄電ハイブリッドシステムの生産台数の増加＞ ・2026 年 3 月期目標 26,835 台	26,025 台 （97.0%）
KPI②	環境	＜廃棄物リサイクル率の上昇＞ ・2026 年 3 月期目標 68.0%	66.72% （98.1%）
KPI③	社会	＜有給休暇取得率の向上＞ ・2026 年 3 月期目標 76.0%	77.8% （102.3%）

【関連資料】

資料名	リンク
会社ホームページ	https://www.diaelec-hd.co.jp/
融資時の評価書	https://www.tochigibank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=3334

以上

ゼブラ電子株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

第一回モニタリング報告書

2026 年 7 月 30 日

株式会社 栃木銀行

株式会社 とちぎんキャピタル＆コンサルティング

1. 評価概要

項目	内容
評価対象企業	ゼブラ電子株式会社
当初評価日	2025 年 9 月 22 日
評価実施日	2026 年 7 月 14 日
評価対象期間	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
評価期間	5 年
評価の目的	2025 年 9 月 22 日に締結された、とちぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス契約に基づき、評価対象企業（以下「同社」）が創出を目指すポジティブインパクトへの取り組み状況について、その進捗をモニタリングし、第三者機関として評価を提供する。
評価の方法	同社より提出された資料のレビュー、ならびに同社担当部署へのヒアリング（2026 年 7 月 14 日実施）に基づき評価を実施した。

2. 企業概要

項目	内容
社名	ゼブラ電子株式会社
本社所在地	栃木県大田原市若草 1-1475
代表取締役	小野 有理
設立	1967 年 12 月

項目	内容
資本金	1 億円
売上高	167 億円（2026 年 3 月期現在）
従業員数	221 名 （2026 年 3 月期現在）
主な事業内容	太陽光発電用パワーコンディショナ・蓄電池ユニット・各種インバータユニットの製造

3. KPI 一覧

インパクト	KPI	2026 年 3 月期 目標
① 再生可能エネルギーの普及とエネルギーレジリエンス強化への貢献	**①太陽光発電用パワーコンディショナ生産台数** **②蓄電池ユニット生産台数**	**①30,712 台** **②26,835 台**
② 環境負荷低減と循環型社会の構築	**廃棄物リサイクル率**	**68.0%**
③ 傍楽（はたらく）仲間達の働きがいとウェルビーイングの追求	**有給休暇取得率**	**76.0%**

4. KPI モニタリング結果

① 再生可能エネルギーの普及とエネルギーレジリエンス強化への貢献

KPI 項目	目標（2026 年 3 月期）	直近実績（2026 年 3 月期）
【太陽光発電用パワーコンディショナの生産台数】	30,712 台	33,404 台
【蓄電池ユニット生産台数】	26,835 台	26,025 台

【コメント】

- 2026 年 3 月期の実績について、太陽光発電用パワーコンディショナの生産台数は目標を達成した一方で、蓄電池ユニットは目標未達（達成率 97.0%）となりました。
- 同社へのヒアリングによれば、蓄電池ユニットの目標未達は、評価対象期間の期末にかけて深刻化した特定の電子部品の供給不足や、それに伴うリードタイムの長期化、調達価格の高騰といった外部環境が主な要因であるとの説明がありました。
- 厳しい外部環境下において、パワーコンディショナの目標を達成し、蓄電池ユニットも目標に近い実績を維持したことは、事業の推進力と困難な状況への対応力を示すものとして評価できます。

② 環境負荷低減と循環型社会の構築

KPI 項目	目標（2026 年 3 月期）	直近実績（2026 年 3 月期）
【廃棄物リサイクル率の向上】	68.0%	66.72 %

【コメント】

- 2026 年 3 月期の廃棄物リサイクル率は 66.72％となり、目標には未達でした。一方で、前期実績（66.5%）からは改善が見られ、事業運営に伴うネガティブ・インパクトの緩和に向けた取り組みが進展している点は評価できます。
- 同社は、製造工程における分別の徹底や従業員教育、処理業者との連携強化といった方針を掲げています。今後は、これらの取り組みを通じて分別精度を向上させ、マテリアルリサイクル等の新たな再資源化ルートの拡充を図ることで、目標達成を目指すとしています。

③ 傍楽（はたらく）仲間達の働きがいとウェルビーイングの追求

KPI 項目	目標（2026 年 3 月期）	直近実績（2026 年 3 月期）
【有給休暇取得率】	**76.0%**	**77.8** %

【コメント】

- 2026 年 3 月期の有給休暇取得率は 77.8%となり、目標を達成しました。
- 経営トップによる休暇取得の推奨、管理職研修による休暇を取得しやすい風土の醸成、デジタルツール活用による業務効率化・多能工化といった多面的な取り組みが、働きやすい職場環境の構築に繋がり、成果として表れたものと認められます。これは、事業の成長を支える従業員のウェルビーイングを重視する同社の姿勢を示すものと評価できます。